

地域別検討協議会学区別検討資料(空知北学区)

区分	H 2 0	H 2 1	H 2 2	H 2 3	H 2 4	H 2 5	H 2 6	H 2 7	計
学区内中卒者数	1,396	1,363	1,405	1,310	1,253	1,227	1,207	1,203	▲ 193
対前年増減		▲ 33	42	▲ 95	▲ 57	▲ 26	▲ 20	▲ 4	
滝川市中卒者数	(410)	(396)	(419)	(378)	(396)	(364)	(369)	(360)	▲ 50
対前年増減		▲ 14	23	▲ 41	18	▲ 32	5	▲ 9	
学校名	平成20年度の状況 学科及び募集学級数 ②欠員 普通 職業 計				平成21年度	平成22年度	平成23年度 の見通し	平成24～27年度までの見通し	計
滝 川	6		6	6			○2～3学級の減	○2～3学級の減	○4～6学級の減
滝川工業		工 3	3	32					
*滝川西	3	商 4	7	-2					
単 砂 川	4		4	14					
奈井江商業		商 2	2	33					
新十津川農業		農 1	1	13					
芦 別	4	商 1	5	60					
赤 平	1		1	2					
深 川 西	4		4	5					
深 川 東		農・商 4	4	28					
10校	22	15	37	191					

注1 学科種別の「普通」には、普通科のほか、総合学科、理数、外国語、体育等の専門学科を含む。

注2 学校名の「単」は全日制普通科単位制、「総」は総合学科単位制、「中高」は連携型中高一貫教育校、「地」は地域キャンパス校。

注3 学校名の*は市町村立学校。

注4 ()は定時制の課程の学校(計欄には含まない、関係学校のみ表示)。

学区の検討事項と現状・課題	
学区の検討事項	現状・課題
○中卒者の減少に対応した高校配置のあり方	・ H 2 3 に中卒者が 9 5 人減少し、欠員を生じている学校も多く、H 2 7 までにはさらに中卒者が 1 0 7 人減少することが見込まれるため、定員調整について検討が必要 ・ 滝川市内の再編について職業学科の再編を含めた検討が必要 ・ 欠員を生じている学校も多く、今後の中卒者数の減少により各校の更なる小規模化が懸念されるため、小規模校の配置のあり方も含めた検討が必要。
○ 2 学級以下の小規模校のあり方	